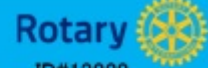




宇都宮ロータリークラブ会報



宇都宮ロータリークラブ 会長 岡崎善胤・幹事 熊本勇治 ID#13888
テーマ「ロータリーは何をするか？」各々のロータリーの価値を行動しましょう！
国際ロータリー会長 バリー・ラシン テーマ BE THE INSPIRATION
国際ロータリー第2550地区 2018-19年度ガバナー 伊東永峯
テーマ「ポールを語ろうーそれは一人のインスピレーションから始まった」
例会日 火曜日 12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12
事務所 宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F Tel 028-666-0555
E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2018年) 平成30年10月2日 No 13 2018~2019年度 (第3262回会報)

会員数 104名 出席者数 67名 出席率 73.6%

ビジター紹介 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

クマリ様 (米山奨学生) シンディー様 (青少年交換学生)

誕生祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

菅谷隆臣会員 神宮厚会員 金成倫会員 佐山良一会員 南波靖一朗会員 草野英二会員
岸本卓也会員 田嶋久登志会員

結婚祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

増田仲夫会員 荻山猛彦会員 岸本卓也会員 伊原修会員 金成倫会員 菊地正敏会員
木村正樹会員 西村拓浩会員 金子昌郎会員 藤澤智会員 南波靖一朗会員 永井宏樹会員
前田正典会員 増渕好次郎会員 三原靖会員 近藤隆亮会員

奥様誕生祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

永井美香様 三井けい子様 谷田部佳子様 新井裕理子様 近藤文子様 菊地賀代子様
三原知子様 前田寿美子様

幹事報告 (小島克之副幹事)

本日、11時30分より第4回理事会が開催されました。会員数は104名です。親睦活動委員会主催クリスマス例会が、12月11日(火)当ホテルにて開催決定となりました。社会奉仕委員会より、宇都宮さんまフェスタが11月3日(土)開催されますので皆様のご参加をお願いします、との事です。国際奉仕委員会より、10月26日(金)から30日(火)までパトムワンロータリークラブの方が来訪されます、との事です。また、10月29日(月)当クラブ主催で懇親会が開催されますので皆様のご出席をお願いします、との事です。10月9日(火)ガバナー補佐訪問例会、10月23日(火)ガバナー公式訪問が予定されております。10月28日(日)、宇都宮グランドホテルにて地区大会本会議が開催されます。皆様のご出席をお願い致します。今月のロータリーレートは、112円です。以上です。

国際奉仕委員会報告 (田中康明副委員長)

10月26日(金)から30日(火)まで、パトムワンロータリークラブより16名の皆様が来訪されます。当クラブで29日(月)18時より晩餐会を予定しております。皆様のご出席をお願い致します。



青少年交換学生報告 (シンディー様)

皆様、こんにちは。私はシンディーです。宇都宮女子高等学校に在籍しております。先生とクラブメイトは、とても優しいです。学校は、毎日楽しいです。友達が沢山出来ました。私は、インターアクトクラブと茶道部に入りました。そして、中国語の先生をしています。よろしくお願ひいたします。

ニコニコボックス委員会（粟飯原悟副委員）

誕生祝：佐山良一会員 草野英二会員 菅谷隆臣会員 神宮厚会員 南波靖一朗会員
酒井誠会員

結婚祝：永井宏樹会員 近藤隆亮会員 伊原修会員 南波靖一朗会員

快出席祝：近藤隆亮会員 秋本薫会員

奥様誕生祝：三井勝滋会員 永井宏樹会員 新井将能会員 佐山良一会員 近藤隆亮会員

プログラム紹介（プログラム委員会 岸本卓也委員長）

本日の卓話は、サヌ タマング クマリさんです。私のロータリーライフというテーマでお話をして頂きます。クマリさんは、米山記念奨学生として宇都宮大学 大学院 国際学部で勉強されています。今年7月8日、文星芸術大学附属高等学校・宇都宮女子高等学校両校インターアクトクラブの学生と共に貧困に苦しむネパールの子供達の為に募金活動をされました。この活動につきましては、8月15日付の下野新聞に募金活動や研究について掲載されました。クマリさん、よろしくお願ひ致します。

卓話「米山奨学生として、私のロータリーライフ」

米山記念奨学生 宇都宮大学 大学院 国際学部 サヌ タマング クマリ 様

皆様、こんにちは。7月8日に街頭でインターアクトクラブの皆さんと募金活動をし、皆さんから多額



のご寄付を頂きました。その後自分の研究テーマの調査のため8月20日ネパールに帰国し、農村地域の学校にお渡ししてきました。今日は、その報告をいたします。本日のプレゼンテーションでは、2点についてお話いたします。1つは募金を渡した現地の学校の報告、もう1つはカトマンズ市内にどんなストリートチルドレンがいるのか？その子供達のニーズとこれからの解決方法についてプレゼンテーションをします。

プロジェクターを使って、説明をさせていただきます。これは、募金を渡した現地の学校からの報告です。農村地域にある学校から、宇都宮ロータリークラブとロータリアンの皆様へ「ありがとう」という言葉から始まっています。これは、募金を届けた学校の写真です。この様な建物が、3つあります。2015年の大地震で建物が壊れ、その後もこちらで子供達が勉強をしています。9月5日、宇都宮での募金活動での募金（67,252円）を渡しました。学校の校長先生が先生方・子供達の親御さん・子供達のコミュニティーを紹介したのち、募金を利用して買う物を決めました。1つめは、ラウンドテーブルです。これにより、幼稚園の子供達が座って勉強が出来ます。2つめは、テレビです。教室にテレビを置いて、子供達の知識を高めるためです。3つめは、カバーです。30名の子供達のために床に敷くカーペットとして利用します。これが、その時の写真です。こちらは、9月16日、買った物を渡した時の写真です。彼らは子供達の両親・校長先生です。こちらは30名の子供達にテレビ・ノートブック・カバンを渡したときの写真です。この2つのテーブルと床に敷いたカーペットは、宇都宮ロータリークラブから頂いたお金で買ったようです。こちらはカバンの中にノートを入れて、配った時の写真です。以上がネパールからの写真・報告です。

これからは、私の研究報告です。こちらは、頂いたお金で「この様に使いました」という証明書です。宇都宮ロータリークラブさんにお渡しします。こちらは私の研究テーマ「ストリートチルドレンのプログラムとニーズ」です。現地に行った後考えたサブタイトルは「家庭のルール・子供の権利を守るための家庭の役割」です。ストリートチルドレンのご説明をします。国連の定義によると、子供達というのは18歳未満の男の子・女の子です。ネパールのみ、16歳未満となっていました。今回私はネパールに行き、ストリートチルドレンには、2つの違いが有るということがわかりました。一方は家族と一緒に一日中路

上で生活する子供達、もう一方は家族がおらず全て一人路上で生活する子供達です。子供の権利を考えるにあたり、児童労働者は私の研究の大事なポイントです。首都カトマンズは、外から毎日多くの人が入り込んできます。2012年のデータによると、カトマンズのストリートチルドレンは1,200人から1,500人おりました。現在は800人から1,200人ほどの子供達がいるそうです。ストリートチルドレンおよび児童労働者がいなくなるまでは、ネパールの子供達の権利を守るために頑張っても効果が無いと言っても間違い無いと思います。2015年ネパールの新しい憲法の中に、子供の権利の事が明記され、児童労働者・子供達に労働をさせる人達のハラスメントの事が書かれていますが、なかなか守られていません。2012年のデータでは、子供達の食べ物が無い環境の中、お腹が空いていることを紛らわせるために袋の中にガムのようなものを入れ、それを吸ったり吹いたりする様子が見られたようです。カトマンズにはストリートチルドレンがいますが、実際行ってみますと以前より減っています。しかし、ゴミを拾っている子供達を多く見かけました。カトマンズには、インドとの国境に近いところから来ている子供が多くいました。学校に行ったことがない・小学校のみ通った・学校に行きたくない・親の元に居たくない・ただ何かをしたい・技術を学びたいなど、様々な子供がたくさんいました。ストリートチルドレンになった原因の41.5%は、親の暴力です。27.1%は友人関係、次は家族の経済的理由です。両親のどちらかが亡くなったため田舎からカトマンズへ来た子もいれば、戦争・バイオレンスから逃れるためにストリートチルドレンになった子供もおります。現地調査には、40人のスタッフと一緒に5日間行き、ネパールの94人の子供達と面接をしました。その後自分1人で行き、子供達に会ってきました。面接した94人中、10歳から16歳までの子供が多かったです。お母さん達に抱かれ町中にいる生後3ヶ月・6ヶ月の子供は、0歳から5歳の子供達の中に含まれます。女の子は28%と少なかったです。女の子は、暴力にあっても我慢をして家から出ないまたは外が怖いという事もあるかもしれません。94人の内12人は自分1人で生活をする子供、82人が親と一緒に住んでいる子供でした。子供達の中の55%は学校へ行かず路上で生活、31%はまだ学校に行ったことがなく、14%のみが学校に通っています。ストリートチルドレンは毎日何をして生活をしているのかと言いますと、バスとミニバスで働いている子供やゴミを拾っている子供達が多いです。親は路上で生活をするため、子供を利用して人から簡単にお金や食べ物もらいます。兄弟は何人かと聞きますと、5・6人と答えます。子供が学校をやめる理由は、子供が路上に出ないとい親が子供と一緒にご飯を食べられない、お金がない、生活が出来ないということでした。家族の経済的な問題・暴力または親といるので何も出来ないという答えもありました。家族が何故子供達を路上に連れてきているかと言いますと、家もお金も無く、これ以外に方法が無いと言っていました。この写真は、面接の時の写真です。この写真は、お母さんと一緒に路上で生活をしている写真です。神社に、朝から晩までいるそうです。こちらは、ゴミの中から食べ物をさがしている子供達です。これは、神社から物をもって生活している写真です。この子供の頭にかぶっている袋は、頂いた物を入れる袋です。「お金はいらない、食べ物がほしい」と言われたので、私のホテルでご飯を食べさせました。政府がルールを作っても、家族から自分の子供は自分で守ると言われると、私たちは何も出来ません。家族が一番大事に子供達のことを考えなければいけません、たとえば中学校までの無料学校教育が守られているかといったことなど、私たちは国のルールを家族が守っているかの確認をしなければいけないと思いました。報告は以上です。

米山記念奨学委員会 草野英二委員長

クマリさん、どうもありがとうございます。今お話を聞いて「大切なものは教育である」と感じました。誰もが政府の力が弱いなど考えていることではないかと思えます。クマリさんお1人でではなく、国際的な理解を得つつ努力を続けてほしいと思います。今日は、どうもありがとうございます。

【10月卓話予定】

10月 2日(火)「米山奨学生として、私のロータリーライフ」

タマング・クマリ様 米山記念奨学生 宇都宮大学 大学院 国際学部

10月 9日(火)「私のロータリー」

川名 悟様 2550 地区第3グループA ガバナー補佐

10月16日(火) クラブ特別休会

10月23日(火) ガバナー公式訪問例会

10月30日(火) 未定 (タイ・パトムワンRC 来訪)

=今日の食事



ポークジンジャー

ライス

スープ

サラダ

会報担当：池田 剛 会員

画像担当：菅谷隆臣 会員